



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月11日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL https://www.inpex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 細野 宗宏 (TEL) 03-5572-0233
 ジェネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	485,391	99.2	228,315	115.3	277,865	162.0	94,087	146.4
2021年12月期第1四半期	243,697	△2.4	106,054	5.1	106,043	△1.6	38,183	13.7

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 272,985百万円 (39.5%) 2021年12月期第1四半期 195,658百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	67.86	—
2021年12月期第1四半期	26.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	5,759,754	3,602,168	58.2
2021年12月期	5,158,196	3,346,409	60.6

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 3,353,919百万円 2021年12月期 3,124,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	27.00	—	27.00	54.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式（非上場）に係る配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,019,000	104.5	535,000	139.2	613,000	178.8	200,000	284.7	144.25
通期	1,851,000	48.8	924,000	56.4	1,042,000	58.4	300,000	34.5	216.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9・10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	1,386,667,167株	2021年12月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	147,219株	2021年12月期	75,805,993株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	1,386,518,175株	2021年12月期1Q	1,460,204,531株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式(2022年12月期1Q 147,219株、2021年12月期 149,593株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	8,000.00	—	11,200.00	19,200.00
2022年12月期	—				
2022年12月期 (予想)		10,800.00	—	10,800.00	21,600.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
3. 参考情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、原油及び天然ガスの販売価格の上昇により、売上高は前年同期比2,416億円、99.2%増の4,853億円となりました。このうち、原油売上高は前年同期比1,809億円、103.7%増の3,554億円、天然ガス売上高は前年同期比592億円、91.6%増の1,239億円です。当第1四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比7,935千バレル、29.1%増の35,176千バレルとなり、天然ガスは前年同期比5,430百万立方フィート、4.5%増の125,785百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比3,922百万立方フィート、4.1%増の99,215百万立方フィート、国内天然ガスは、前年同期比40百万立方メートル、6.0%増の712百万立方メートル、立方フィート換算では26,570百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり86.92米ドルとなり、前年同期比26.54米ドル、44.0%上昇、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり6.58米ドルとなり、前年同期比2.84米ドル、75.9%上昇、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり66円98銭となり、前年同期比28円69銭、74.9%上昇しております。売上高の平均為替レートは1米ドル116円03銭となり、前年同期比9円90銭、9.3%の円安となりました。

売上高の増加額2,416億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により531億円の増収、平均単価の上昇により1,503億円の増収、売上の平均為替レートが円安となったことにより367億円の増収、その他の売上高が14億円の増収となりました。

一方、売上原価は前年同期比1,092億円、93.9%増の2,255億円、探鉱費は前年同期比51億円、404.3%増の64億円、販売費及び一般管理費は前年同期比50億円、25.0%増の250億円です。以上の結果、営業利益は前年同期比1,222億円、115.3%増の2,283億円となりました。

営業外収益は持分法による投資利益の計上等により、前年同期比392億円、181.2%増の608億円、営業外費用は為替差損の減少等により、前年同期比103億円、47.7%減の113億円となりました。この結果、経常利益は前年同期比1,718億円、162.0%増の2,778億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比1,038億円、129.1%増の1,842億円、非支配株主に帰属する四半期純損失は4億円です。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比559億円、146.4%増の940億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

ガス価の上昇により、売上高は前年同期比232億円、73.7%増の546億円となりましたが、売上原価の増加により、前年同期の営業利益31億円に対し、当期は106億円の営業損失となりました。

② アジア・オセアニア

油価・ガス価の上昇により、売上高は前年同期比554億円、82.1%増の1,230億円となり、営業利益は前年同期比367億円、121.6%増の668億円となりました。

③ ユーラシア（欧州・NIS諸国）

販売数量の増加及び油価の上昇により、売上高は前年同期比645億円、286.2%増の871億円となり、営業利益は前年同期比396億円増の432億円となりました。

④ 中東・アフリカ

販売数量の増加及び油価の上昇により、売上高は前年同期比967億円、82.9%増の2,133億円となり、営業利益は前年同期比573億円、80.9%増の1,282億円となりました。

⑤ 米州

油価の上昇により、売上高は前年同期比17億円、32.0%増の71億円となり、営業利益は前年同期比18億円、65.5%増の45億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5兆7,597億円となり、前連結会計年度末の5兆1,581億円と比較して6,015億円の増加となりました。このうち、流動資産は7,634億円で、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末と比較して2,445億円の増加となりました。固定資産は4兆9,963億円で、有形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して3,569億円の増加となりました。

一方、負債は2兆1,575億円となり、前連結会計年度末の1兆8,117億円と比較して3,458億円の増加となりました。このうち、流動負債は4,857億円で、前連結会計年度末比1,368億円の増加、固定負債は1兆6,718億円で、前連結会計年度末比2,089億円の増加となりました。

純資産は3兆6,021億円となり、前連結会計年度末比2,557億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆7,364億円で、前連結会計年度末比558億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は6,174億円で、前連結会計年度末比1,739億円の増加、非支配株主持分は2,482億円で、前連結会計年度末比259億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

原油・ガス生産操業が概ね順調に進捗し、2022年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想は、第1四半期の実績の原油価格が上振れしたこと、原油価格が期初時点よりも高い水準で推移していることを踏まえ原油価格の前提条件を見直したことに加えて、為替が円安方向に推移したこと等を理由にそれぞれ修正を行いました。

1. 第2四半期連結累計期間業績予想(2022年1月1日～2022年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	820,000	394,000	466,000	150,000
今回修正予想(B)	1,019,000	535,000	613,000	200,000
増減額(B-A)	199,000	141,000	147,000	50,000
増減率(%)	24.3	35.8	31.5	33.3

2. 通期連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,541,000	716,000	824,000	250,000
今回修正予想(B)	1,851,000	924,000	1,042,000	300,000
増減額(B-A)	310,000	208,000	218,000	50,000
増減率(%)	20.1	29.1	26.5	20.0

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期平均(予想)	80.0ドル/バレル	上期平均(予想)	95.0ドル/バレル
	下期平均(予想)	70.0ドル/バレル	下期平均(予想)	75.0ドル/バレル
	・第3四半期平均(予想)	75.0ドル/バレル	・第3四半期平均(予想)	80.0ドル/バレル
	・第4四半期平均(予想)	65.0ドル/バレル	・第4四半期平均(予想)	70.0ドル/バレル
	通期平均(予想)	75.0ドル/バレル	通期平均(予想)	85.0ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期平均(予想)	110.0円/ドル	上期平均(予想)	120.0円/ドル
	下期平均(予想)	110.0円/ドル	下期平均(予想)	120.0円/ドル
	通期平均(予想)	110.0円/ドル	通期平均(予想)	120.0円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	201,765	334,468
受取手形及び売掛金	168,224	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	240,749
棚卸資産	47,817	52,256
その他	113,161	148,850
貸倒引当金	△12,104	△12,878
流動資産合計	518,864	763,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	163,165	161,775
坑井(純額)	345,946	398,393
機械装置及び運搬具(純額)	1,418,656	1,556,056
土地	18,666	18,692
建設仮勘定	292,836	273,278
その他(純額)	20,578	20,734
有形固定資産合計	2,259,849	2,428,929
無形固定資産		
のれん	29,550	44,016
その他	417,110	440,636
無形固定資産合計	446,660	484,653
投資その他の資産		
投資有価証券	403,356	533,300
長期貸付金	1,011,801	1,034,894
生産物回収勘定	548,170	534,880
その他	33,417	39,958
貸倒引当金	△652	△695
生産物回収勘定引当金	△61,871	△58,280
探鉱投資引当金	△1,400	△1,333
投資その他の資産合計	1,932,821	2,082,724
固定資産合計	4,639,332	4,996,308
資産合計	5,158,196	5,759,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,888	53,577
短期借入金	80,493	91,232
未払法人税等	51,350	100,229
賞与引当金	1,386	—
役員賞与引当金	200	35
事業損失引当金	9,400	8,811
探鉱事業引当金	9,444	10,449
資産除去債務	672	3,704
その他	181,051	217,738
流動負債合計	348,888	485,778
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,069,721	1,175,240
株式給付引当金	100	106
特別修繕引当金	650	680
退職給付に係る負債	7,048	8,621
資産除去債務	258,339	334,519
その他	97,037	122,638
固定負債合計	1,462,897	1,671,807
負債合計	1,811,786	2,157,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	681,398	681,999
利益剰余金	1,783,841	1,763,854
自己株式	△75,425	△174
株主資本合計	2,680,624	2,736,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,640	3,901
繰延ヘッジ損益	△16,171	△4,608
為替換算調整勘定	456,972	618,136
その他の包括利益累計額合計	443,441	617,429
非支配株主持分	222,344	248,249
純資産合計	3,346,409	3,602,168
負債純資産合計	5,158,196	5,759,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	243,697	485,391
売上原価	116,320	225,554
売上総利益	127,377	259,836
探鉱費	1,284	6,479
販売費及び一般管理費	20,038	25,041
営業利益	106,054	228,315
営業外収益		
受取利息	8,252	8,784
受取配当金	2,494	6,471
持分法による投資利益	—	34,350
生産物回収勘定引当金戻入益	1,924	2,989
その他	8,981	8,283
営業外収益合計	21,653	60,879
営業外費用		
支払利息	3,523	3,777
持分法による投資損失	2,028	—
為替差損	10,932	3,929
その他	5,180	3,621
営業外費用合計	21,664	11,329
経常利益	106,043	277,865
税金等調整前四半期純利益	106,043	277,865
法人税、住民税及び事業税	74,088	167,470
法人税等調整額	6,337	16,757
法人税等合計	80,425	184,227
四半期純利益	25,617	93,637
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,565	△449
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,183	94,087

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	25,617	93,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,181	1,308
繰延ヘッジ損益	△597	△9,449
為替換算調整勘定	145,429	161,508
持分法適用会社に対する持分相当額	23,028	25,980
その他の包括利益合計	170,041	179,347
四半期包括利益	195,658	272,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,195	268,075
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,537	4,909

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

1. 交換取引

同様の性質及び価値を持つ石油製品等を同業他社間で融通する取引(交換取引)については、純額での計上に変更しております。

2. 軽油引取税

軽油引取税については、第三者のために回収する額に該当するため、取引価格から控除し収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が452百万円、売上原価が452百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高につきましても影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当社は、国内石油天然ガス生産施設及び天然ガス供給販売施設について、鉱山保安法が規定する採掘終了後の坑井掘採跡の鉱害防止義務並びに事業終了時の借地契約に伴う原状回復義務を有しております。

このうち、前連結会計年度まで一部の国内石油天然ガス生産施設は、LNG基地と相互補完的かつ有機的に関連しており、LNG導入量とのバランスを考慮した長期に亘る合理的な生産計画を策定することが困難であったこと、国内天然ガス供給販売施設については、公共性が高いエネルギーの供給インフラとして恒久的に使用する予定であったことから、撤去の時期等を予測することができませんでした。このため、前連結会計年度末までは資産除去債務を合理的に見積もることができず、資産除去債務を計上しておりませんでした。

当第1四半期連結会計期間において、従前、撤去の時期等を予測できないとして資産除去債務を計上していなかった国内石油天然ガス生産施設、及び生産施設と一体として機能している一部の国内天然ガス供給販売施設について、2022年2月における「長期戦略と中期経営計画（INPEX Vision @2022）」の策定及び公表を契機に生産及び開発計画を見直した結果、撤去の時期等を合理的に予測することができるようになったことから、新たに資産除去債務を12,149百万円計上しております。この見積りの変更により、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,828百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシア (欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,494	67,579	22,555	116,657	5,411	243,697	—	243,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,128	—	—	—	4,128	△4,128	—
計	31,494	71,707	22,555	116,657	5,411	247,825	△4,128	243,697
セグメント利益又は損 失(△)	3,179	30,180	3,674	70,879	2,768	110,682	△4,627	106,054

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,627百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシア (欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	54,698	123,059	87,102	213,384	7,144	485,391	—	485,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,647	—	—	—	4,647	△4,647	—
計	54,698	127,707	87,102	213,384	7,144	490,038	△4,647	485,391
セグメント利益又は損 失(△)	△10,604	66,885	43,282	128,247	4,582	232,393	△4,078	228,315

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,078百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ユーラシア(欧州・NIS諸国)」セグメントにおいて、株式会社INPEXノルウェー及びINPEX Idemitsu Norge ASを新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては16,204百万円です。なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」セグメントの売上高が452百万円減少しておりますが、セグメント利益又は損失に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
日本	原油	0.3百万バレル (日量3.2千バレル)	0.3百万バレル (日量2.8千バレル)
	天然ガス	10.6十億CF (日量118.2百万CF)	9.6十億CF (日量106.6百万CF)
	小計	2.3百万BOE (日量25.4千BOE)	2.1百万BOE (日量22.9千BOE)
	ヨード	142.5t	142.4t
	発電	56.1百万kWh	57.5百万kWh
アジア・オセアニア	原油	4.7百万バレル (日量51.8千バレル)	4.5百万バレル (日量49.8千バレル)
	天然ガス	98.1十億CF (日量1,090.2百万CF)	106.2十億CF (日量1,179.8百万CF)
	小計	23.7百万BOE (日量262.8千BOE)	25.0百万BOE (日量277.5千BOE)
	発電	98.2百万kWh	94.3百万kWh
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	4.6百万バレル (日量51.3千バレル)	6.9百万バレル (日量76.8千バレル)
	天然ガス	2.3十億CF (日量25.8百万CF)	4.9十億CF (日量54.8百万CF)
	小計	5.0百万BOE (日量55.9千BOE)	7.8百万BOE (日量86.7千BOE)
	硫黄	23.7千t	28.8千t
中東・アフリカ	原油	19.2百万バレル (日量213.2千バレル)	22.8百万バレル (日量253.7千バレル)
米州	原油	0.6百万バレル (日量7.2千バレル)	0.7百万バレル (日量7.4千バレル)
	天然ガス	4.5十億CF (日量50.4百万CF)	0.7十億CF (日量8.3百万CF)
	小計	1.5百万BOE (日量16.6千BOE)	0.8百万BOE (日量9.1千BOE)
合計	原油	29.4百万バレル (日量326.6千バレル)	35.1百万バレル (日量390.4千バレル)
	天然ガス	115.6十億CF (日量1,284.6百万CF)	121.4十億CF (日量1,349.4百万CF)
	小計	51.7百万BOE (日量574.0千BOE)	58.5百万BOE (日量649.9千BOE)
	ヨード	142.5t	142.4t
	発電	154.2百万kWh	151.8百万kWh
	硫黄	23.7千t	28.8千t

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

- 3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、1月1日から3月31日の実績となっております。
 - 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの權益比率ベースの生産量は、前第1四半期連結累計期間は原油31.6百万バレル（日量350.9千バレル）、天然ガス120.2十億CF（日量1,335.9百万CF）、合計54.6百万BOE（日量607.1千BOE）、当第1四半期連結累計期間は原油36.0百万バレル（日量400.5千バレル）、天然ガス124.2十億CF（日量1,380.5百万CF）、合計59.9百万BOE（日量665.3千BOE）となります。
 - 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
 - 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 - 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。
- ② 受注実績
- 当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
日本	原油	1,194	1,470
	天然ガス (LPGを除く)	25,712	47,684
	LPG	7	5
	その他	4,580	5,537
	小計	31,494	54,698
アジア・オセアニア	原油	28,112	55,694
	天然ガス (LPGを除く)	38,498	66,280
	LPG	968	1,084
	小計	67,579	123,059
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	24,556	78,038
	天然ガス (LPGを除く)	△1,933	8,629
	その他	△68	434
	小計	22,555	87,102
中東・アフリカ	原油	116,657	213,384
米州	原油	3,969	6,900
	天然ガス (LPGを除く)	1,441	243
	小計	5,411	7,144
合計	原油	174,490	355,489
	天然ガス (LPGを除く)	63,719	122,838
	LPG	975	1,090
	その他	4,511	5,972
	合計	243,697	485,391